



雨の日の交通事故に注意！！

梅雨時期は、雨の中を走行する機会が増えます。
晴天時と同じ気持ちで運転していると思わぬ事故を起こしてしまいます。
雨天時は、いつもより慎重な運転に心掛けましょう。

わびしょと

- ① スピードダウン
- ② 車間距離を十分にとる



まず、スピードをダウンしましょう！

- 雨の降り始めはスリップに注意
路面が滑りやすいのは、雨の降り始めです。
路面のゴミやほこりの影響で、急激に滑りやすくなります。
～ 雨が降り始めたら、まず、スピードダウン ～
- 「視界の確保」が交通安全の基本
車のスピードが上がるほど視界が狭くなります。
雨の日は更に見えにくくなるため、ワイパーで視界を確保しますが、その能力にも限界があります。
～ 視界が確保できるよう、スピードダウン ～



車間距離を十分にとりましょう！

- 雨の日は「制動距離」が伸びます
路面が濡れると、乾燥しているときよりも制動距離（ブレーキを踏んでから止まるまでの距離）が長くなります。
～ 雨が降り始めたら、車間距離を長めに ～
- 前車の動きに注意
雨の日は、前を走る車も視界が悪くなっていて、交通事故回避のために急ブレーキを掛けることもあります。
～ 前の車に注意して、車間距離を長めに ～



突然の豪雨に備えて！

- 運転中、豪雨に遭遇した時は、「ハイドロプレーニング現象」が起きることがあります。
タイヤの空気圧や溝の状態を定期的に点検しましょう。
- ワイパーもきかない状態では、視界が悪くなるため、ライトを点灯しましょう。
- 『大丈夫』と過信せず、山沿いの道や冠水した道路には近づかないようにしましょう。
- ※ 「ハイドロプレーニング現象」とは
道路とタイヤの間に雨水が入り込み、車が浮いた状態になること。
スリップしてハンドルも効かなくなります。

